

ペアレンツキャンプ

山下先生

この度 ペアレンツキャンプの支援を卒業させて  
頂きありがとうございます。

娘は小学校1年生の1学期のある朝、突然  
泣きながら班長さんに手をひかれて自宅へと  
戻ってきました。「学校へ行きたくない」と言い  
ながら…。私は驚きと共に心のどこかで  
「やっぱりか…」という思いを持っていました。  
これまでに幼稚園入園後に何度か私から  
離れられあが大泣きして先生に連れて行ってもらう  
経験をしていたからであ。でもその頃の私は  
「きっと娘はまだ幼いから成長あれば皆と同じ  
ように環境に慣れるはあ…」そんな風に  
考えていました。しかし、小学校に入学して  
からも相変わらず環境の変化に弱く、不安  
の強い娘は「先生が怖い」と口にある  
ようになりました。

そして、登校班が学校へ向かったものの  
途中で心が押しつぶされ戻ってきてしまった  
我が子。当時私はパニックになりながら  
も「とにかくこの子を学校に連れて行かなくて  
は！」と必至になりました。毎朝泣きわめく  
娘をなだめ、何時何目からでもいいからと  
自転車に乗せ学校へと連れて行きました。  
また、学校の何が嫌なのかと原因を探り、  
先生の心ない対応が娘を学校から遠ざけ  
たのだとも思っていました。しかし、それは  
間違いでした。きっかけは先生に怒られた  
事ではありましたが、それは原因ではなく  
本当の原因は娘の自立にあったのであ  
る。考えてみれば、他の友達と比べると全く  
母ばかりを頼ってくる娘。「ママー、ママー！」  
と私が娘のあべてのような存在であり  
また私も娘が心配して心配でまるで  
自分の事のように娘のあべての問題を

抱え込もうとしていました。

娘は「先生が怖い」と教室から遠ざかるようになり、私と保健室へ通うようになりました。私は先生方に娘が怯えているからまが信頼関係を築いてほしいとお願いをしました。

それから先生方も配慮して下さい、お友達の協力もあって娘は教室へ戻れるようになって行きました。私も教室の一番うしろで見守り、

そして少しあつ「今日は4時間目から保健室にいるね」と娘に伝え私との距離を離して行きました。そんな時にネットでペアレンツキャンプの存在を知りました。娘は少しあつ良い方向に向かっているものの不安は消えあつ「これで本当に根本解決になるのだろうか…」そんな思いが湧いていました。私は水野先生の本をあぐに購入し保健室で毎日読んでいました。大阪という遠い場所である事、また金銭面などで少し悩みましたか。

母子登校を始めて2ヶ月…私が変わる事で  
少しでもこの子に変化があるのならば「いくらで  
も変わろう」とそんな気持ちになっていました。

我が家は家庭教育支援コースでお世話になり、  
担当になって下さった山下先生にはそれから  
10ヶ月もの間 毎週電話で話を聞いてもらい  
支えて頂きました。はじめは娘が失敗ある事  
が怖くはかなかなかうまく行きませんでした。

しかし先生は具体的な会話をノートに示して  
下さり次第に娘にも変化が見られたのであ  
る。「ママ、明日から一人で行ってみようと思うの」  
と言ってきてくれた時の娘の姿は今でも私の目に  
焼き付いていまも。一人でいけるようになって  
からも色々な問題を持ち帰ってくる娘に  
何度も不安になりましたが、その度に山下  
先生は「でもそれはこんな風にも捉えられまあよね」  
とか「見方を変えれば」という事であ

よね」と様々な物事の捉え方や見方が  
ある事を教えて下さいました。

これまで私は娘が何か問題に巻き込まれ  
ないように防ごうと努めてきました。それが  
親バだと…。でもそれは母である私が安心  
したにすぎただけなのかもしれません。本当に  
子供の事を思うなら1つ1つの問題を乗り  
越えさせてあげる事が、そういう経験を積み  
せてあげる事が生きて行く力をつける事に繋がる  
のでよね。母子登校をした経験は大変  
辛い事ではありましたが、私のマズイ対応に  
サインを出して気づかせてくれた娘に今は  
感謝してしまあ。そして以前にも増してそんな  
娘が愛おしく感じられまあ。

これも全てペアレンツキャンプの先生方との  
出会いがあったから、先生方に支えてもらった  
から私たちに家族は今毎日を笑顔で過ごせて  
いるのであ。子供の自立について本気で

考える機会を与えて頂きとても勉強になりました。

心から感謝していまあ。心から応援していまあ。本当にありがとうございました。

2024.10.16